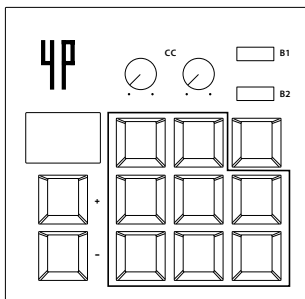


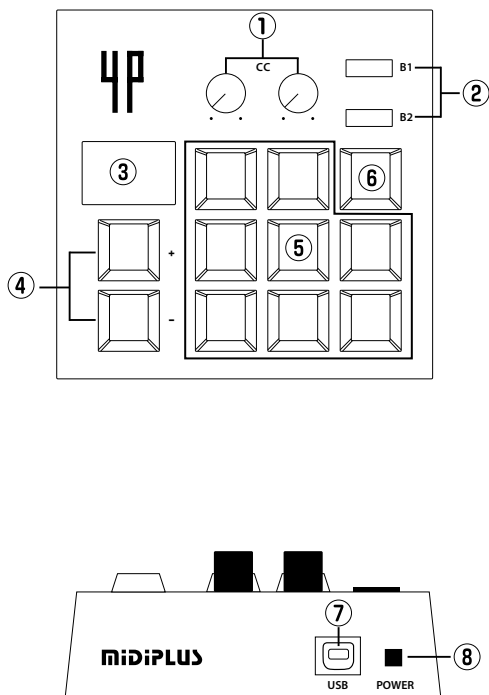
4P

インテリジェント MIDI コントローラー 4 Pages Box

取扱説明書



MIDIPLUS



■コンピュータとの接続

コンピュータと USB ケーブルで接続し、POWER スイッチを押し込んで電源をオンにするだけで使用可能となります。特にドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

DAW 側で 4 Pages Box の MIDI ドライバを選択する場合は「4 Pages Box」と表示されるドライバを選択して下さい。

■はじめに

この度は MIDIPLUS 4 Pages Box をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

4 Pages Box はコンパクトなボディに様々な機能を凝縮したインテリジェント MIDI コントローラーです。4 Pages Box には CC (コントロールチェンジ)、TRI (トリガー)、NTE (ノート)、SEQ (シーケンサー) の 4 つのモードがあり、黒線で囲まれた 8 つのキースイッチで様々な MIDI データの送出ができます。CC モードでは、キースイッチにアサインされた 32 種類のコントロールチェンジ (8 種類 × 3 ページ、コントロールチェンジナンバーは固定) を、値 127 と 0 の交互で送出できますので、ソフトウェアシンセサイザーや DAW の各種ボタンなどにアサインして使用することができます。TRI モードでは 3 オクターブ分のノートオンとノートオフをトグルスイッチ的に送出できるので、ループサンプラーのオンオフトリガーとして使用可能です。NTE モードでは 3 オクターブ分のキーボード (同時使用は 8 音まで、ペロシティー無しのキーボードスイッチとなります) として機能します。SEQ モードでは最大 4 和音 8 ステップのステップシーケンサーを 3 種類記憶することができますので、音源のみのソフトウェアや MIDI 対応のモジュラーシンセなどをコントロールするのに最適です。さらに上部にある 2 つの CC ノブによってコントロールチェンジ (#52 および #7) も送出できますので、ボリュームやフィルターなどをリアルタイムにコントロールすることもできます。

また、MIDI over Bluetooth Low Energy (BLE-MIDI) にも対応しており、電池でスタンドアローン駆動させれば、iPad などの BLE-MIDI 対応機種とワイヤレスで接続して MIDI コントロールを行うことも可能です。

■特徴

- ・ コントロールチェンジ、ノート情報など様々な情報を送出できる MIDI コントローラー
- ・ 対応コントロールチェンジナンバー数は 8 × 3 ページ + 4 種類の合計 28 種類
- ・ CC7 および CC52 は連続可変で送出可能
- ・ サンプルプレイバックなどに便利なノートオン / オフのトリガーモードを搭載
- ・ 3 オクターブの MIDI キーボード (ノートオン / オフ) として使用可能
- ・ 8 ステップの MIDI シーケンサー機能搭載 (同時発音最大 4 和音)

■各部の名称

- | | | | |
|---|---------------|---|------------|
| ① | CC ノブ | ⑤ | メインキースイッチ |
| ② | B1 および B2 ボタン | ⑥ | モードキースイッチ |
| ③ | LED ディスプレイ | ⑦ | USB 端子 |
| ④ | +、-キースイッチ | ⑧ | POWER スイッチ |

次ページの図参照

■BLE-MIDI 機器との接続

4 Pages Box を単体で使用する場合には裏面の電池ボックスに単 4 乾電池を 2 本入れてください。POWER スイッチをオンにすると BLE-MIDI は自動的にオンになります。接続したい iPad などのアプリケーション側で Bluetooth MIDI デバイスの設定画面を開き、「4 Pages Box」を選択して接続済みにしてください。

Mac の場合は、アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定 を開き、ウィンドウメニューから「MIDI スタジオを表示」を選択してください。MIDI スタジオメニューから Bluetooth 設定を開く ... を選択し、表示されたウィンドウから 4 Pages Box を選択して右側の接続ボタンを押して下さい。



ここを押す

USB ケーブルで電源供給を行うことも可能ですが、コンピューターなどと接続した場合には、USB ケーブル経由の MIDI 情報と BLE-MIDI 経由の MIDI 情報が重なり、誤動作を起こす場合がありますのでご注意ください。また、BLE-MIDI 規格を持ったワイヤレス MIDI アダプターなどを同時に使用すると、4 Pages Box とワイヤレス MIDI アダプターが接続される場合があります。iPad などと 4 Pages Box を使用する際には 4 Pages Box のみをご利用になることをお勧めいたします。

iOS の場合には、使用するアプリケーションの MIDI 設定から接続します。

例：GarageBand の場合



設定アイコンをタップし、詳細をタップ

Bluetooth MIDI デバイスをタップ

4 Pages Box をタップして「接続済み」にする

なお、Bluetooth MIDI は MIDI over Bluetooth Low Energy に対応したデバイス間でのみ MIDI 情報をやりとりできます。マウスなどの一般的な Bluetooth 接続とは異なり、コンピューターの Bluetooth をオンにしてペアリングするだけでご使用いただけるものではありませんのでご注意ください。

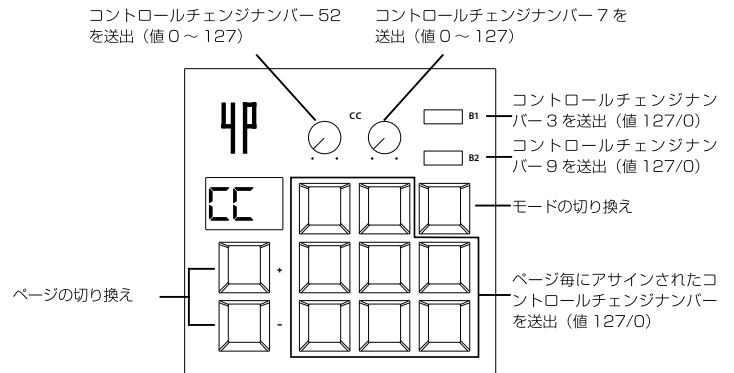
また、現在 Windows では 4 Pages Box に対応した MIDI over Bluetooth Low Energy ドライバがございません。Windows 環境では USB 接続にてお使い下さい。

■各モードの機能について

CC (コントロールチェンジ) モード

POWER スイッチをオンにしたときに最初に設定されるモードです。LED ディスプレイに CC と表示され、モードキースイッチが青色に点灯している状態が TRI モードです。他のモードから切り換えるときは、LED ディスプレイに CC と表示されるまでモードキースイッチを押してください。

このモードでは以下の図に記載されている通りのコントロールチェンジャーを送出します。キースイッチおよび B1,B2 ボタンでは一度押したタイミングで値 127 が送出され、離れたタイミングで 0 が送出されます（送出しているコントロールチェンジャーが LED ディスプレイに表示されます）。CC ノブではつまみを動かした時だけ値を送出します（送出しているコントロールチェンジの値が LED ディスプレイに表示されます）。送出される値は左に回しきった状態で 0 で、右に回すと徐々に大きい値が送出され、右に回しきった状態で最大の 127 が送出されます。値はつまみの位置に比例しており、つまみを回し続けると連続的にデータを送出できます。



メインキースイッチにアサインされたコントロールチェンジャーは、＋キースイッチを使用して 3 ページ分切り換えることができます。＋ボタンだけが点灯している状態が 1 ページ目となり、この状態でキースイッチを押すと両方のキースイッチが点灯し、2 ページ目に切り替わります。さらにキースイッチを押すとキースイッチだけが点灯し 3 ページ目となります。この状態から＋キースイッチを押すと 2 ページ目に戻り、さらに＋キースイッチを押すと 1 ページ目に戻ります。

例えば C のキースイッチを一度押すとノートオンメッセージ（ノートナンバー 60）が送出され、スイッチが赤く点灯したままになります。もう一度同じキースイッチを押すとノートオフメッセージ（ノートナンバー 60）が送出されスイッチの LED が消灯します。キースイッチが青色に点灯している間は鍵盤を押している状態と同じですので、ループサンプラー音源のサンプル再生をオンオフしたりするのに便利です。

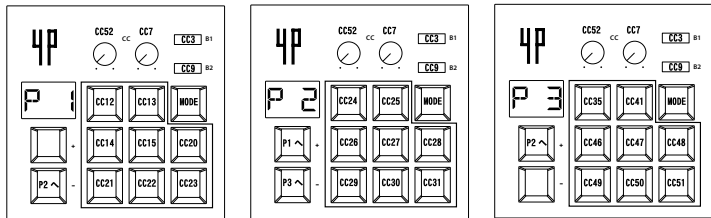
また、＋キースイッチを使用すると上下に 1 オクターブ分トランスポーズすることが出来ます。それぞれ LED ディスプレイに UP8、DN8 と表示されます。

さらに B1 ボタンを押してからメインキースイッチを押すとアサインされているノートの半音上のノートを送出することが出来ます。半音上のノートを送出しているときはメインキースイッチが緑色に点灯します。B1 スイッチを押して送出した半音上の音をノートオフする場合は、必ず B1 スイッチを押しながら該当するメインキースイッチを押して下さい。

B1 スイッチを押さずに同じメインキースイッチを押すと半音上がっていないノートのノートオンが送出されます（和音になるという意味です）。この状態の時はメインキースイッチが黄色に点灯します（一つメインキースイッチで 2 音をホールドしている状態）。

なお、E の半音上と F および B の半音上と高い方の C は同じノートナンバーとなりますのでご注意下さい。

各ページのメインキースイッチにアサインされているコントロールチェンジャーは、以下を参照ください。なお、CC ノブおよび B1、B2 ボタンの機能は固定です。

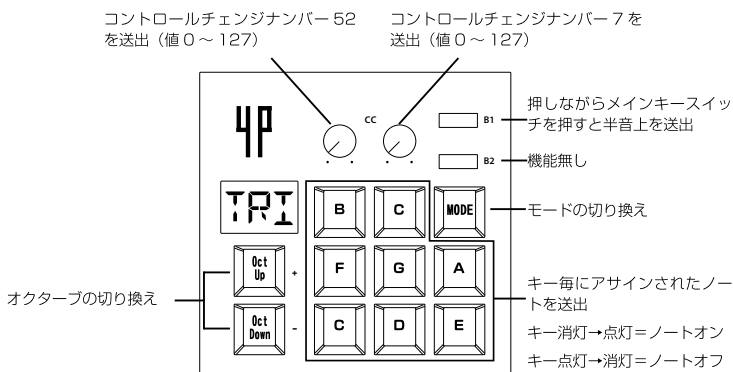


TRI (トリガー) モード

LED ディスプレイに TRI と表示され、モードキースイッチが黄色に点灯している状態が TRI モードです。

トリガーモードでは 8 つのメインキースイッチがホールド機能付きの MIDI キーボードのように動作します。

出力される音程は次の図の通りです。



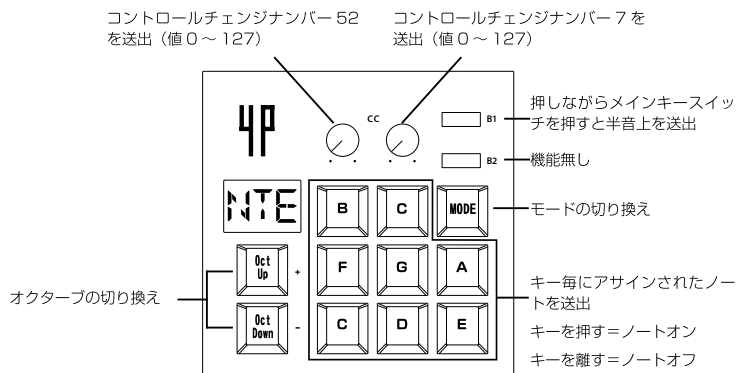
NTE (ノート) モード

LED ディスプレイに NTE と表示され、モードキースイッチが緑色に点灯している状態が NTE モードです。

ノートモードではメインキースイッチが MIDI キーボードと同じようにノートデータを送出します。

各メインキースイッチのノートはトリガーモードと同様です。トリガーモードとの違いはメインキースイッチを押したときにノートオンが送出され、離れたときにノートオフが送出される点です（ホールド機能が無い）。

また、メインキースイッチを押している間（音が出ている間）はメインキースイッチが緑色に点灯します。トリガーモードと同様に＋キースイッチでオクターブが変更できます。また、B1 スイッチをしながらメインキースイッチを押すと半音上のノートを出すことができます。なお、半音上のノートを出しているキーは青色に点灯します。

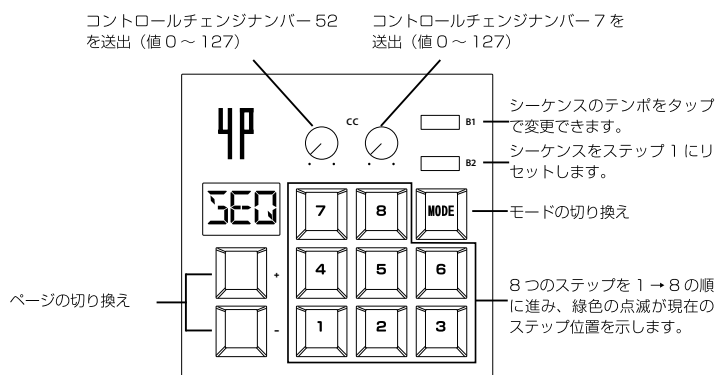


SEQ (シーケンス) モード

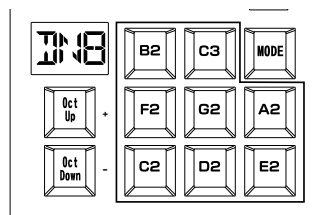
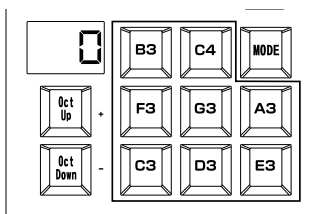
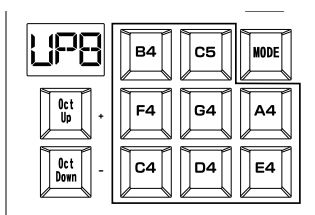
LED ディスプレイに SEQ と表示され、モードキースイッチが赤色に点灯している状態が SEQ モードです。

シーケンスモードではメインキースイッチの 1 から 8 に向かって緑色の点滅がおこります。このモードは 8 ステップのステップシーケンサーとなっており、緑色の点灯は現在のステップ位置を示しています。

また、このとき B1 ボタンが赤色に点滅し、ステップが進む速度を表示しています。

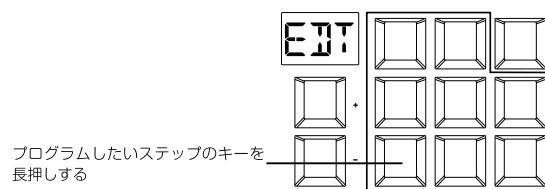


4. +-キースイッチを併用することで最大 3 オクターブのノートの中から選択できます。



◆ステップシーケンサーにノート情報をプログラミングする手順

1. プログラミングしたいステップ位置のメインキースイッチを長押しして LED ディスプレイに EDT と表示させる。(モードキーがピンク色に点灯します)

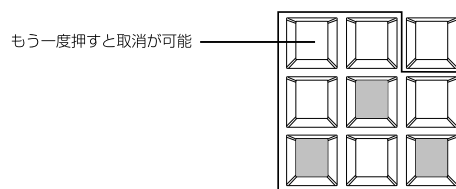


2. そのステップで再生したいノートを最大 4 音までメインキースイッチで選択します。選択されたメインキースイッチは青色に点灯します。

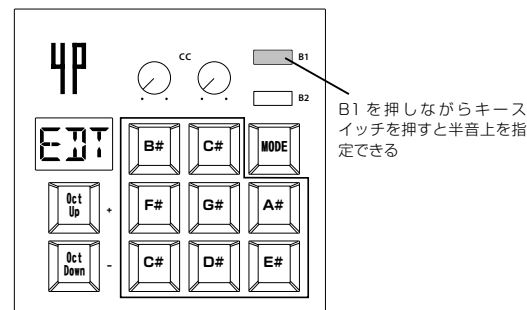


右の場合は C、E、G、B の 4 和音となる

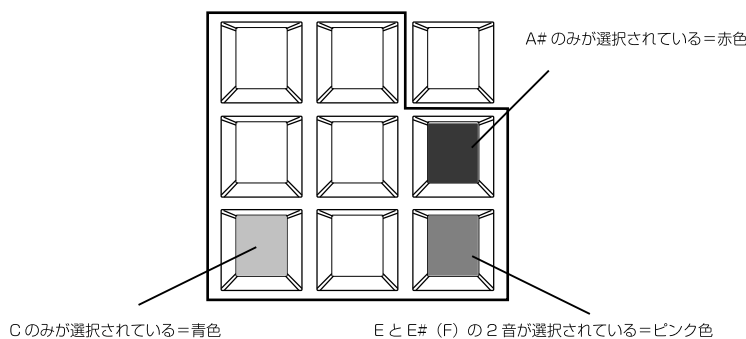
3. 発音を取り消したい場合は、同じキースイッチをもう一度押してキーを消灯させて下さい。



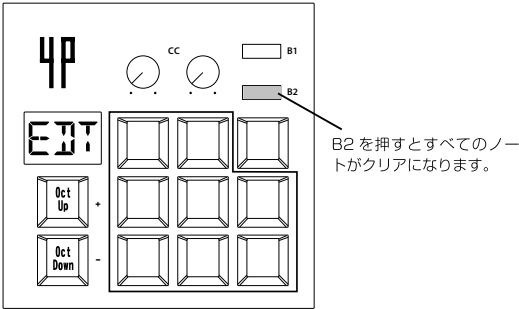
5. B1 スイッチを押しながらメインキースイッチでノートを選択すると、半音上のノートを選択することも出来ます。このときメインキースイッチは赤色に点灯します。



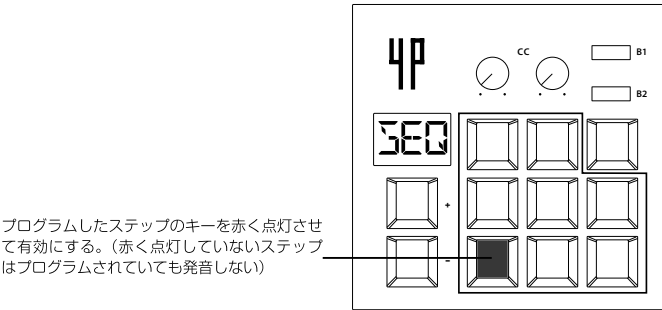
6. 同じステップのノートが 4 音以内であれば、同じキーで指定できる 2 つのノート (例えば C と C#) を同時に使用することも出来ます。同じキーで 2 音選択されている場合はキーがピンク色に点灯します。



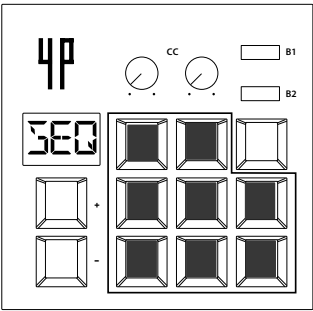
7. B2 ボタンを押すとステップ内のすべてのノートがクリアされます。



- 8. ノートの指定が終了したらモードキースイッチを押します。
- 9. ステップシーケンサー状態に戻り、緑色の点滅が進みます。
- 10. プログラミングしたステップのメインキースイッチを押して赤色に点灯させます。



- 11. 緑の点滅がそのステップの位置に来ると 4 Page Box から編集したノートが送出されます。
- 12. 1 ～ 11 を繰り返してすべてのステップにノートをプログラミングします。



すべてのステップをプログラミングし、赤く点灯させて使用する。

プログラミングが終了していてもステップシーケンサー状態（緑の点滅が進んでいる状態）の時に赤色に点灯しているステップしかノートは送出されません。ステップのオンオフを駆使するとリアルタイムパフォーマンスに変化をつけることが可能です。

シーケンスモードには 3 種類のシーケンスを切り換えて使用することが出来ます。

＋キースイッチのうち＋キースイッチのみが点灯している状態が 1 ページ目（LED ディスプレイに P1 と表示）、この状態から－キースイッチを一回押して＋キースイッチが両方点灯している状態が 2 ページ目（LED ディスプレイに P2 と表示）、さらに－キースイッチを一回押して－キースイッチのみが点灯している状態が 3 ページ目（LED ディスプレイに P3 と表示）となり、ページ毎にシーケンスプログラムを独立して行うことが可能です。ページを減らす方向へは＋キースイッチを増やす方向へは－キースイッチを押すことで切り換えられ、瞬時にシーケンスプログラムを切り替えて使用することが可能です。ページ切り替えとステップ毎のオンオフを駆使することでクリエイティブなシーケンスパフォーマンスを実現可能です。

シーケンスのテンポ変更とリスタートについて

ステップシーケンスが再生されている状態（モードキースイッチが赤色に点灯している状態）で B1 ボタンを等間隔でタップすると、ステップシーケンスのテンポを変更することが出来ます。

また、B2 ボタンを押すとステップ位置をスタート位置（メインキースイッチ 1 のステップ）に戻すことが出来ます。

※ 4 Page Box の POWER をオフにするとすべてのプログラミングがクリアされます。メモリー保存機能はございません。

仕様

キースイッチ	LED 付キースイッチ× 11
ボタン	LED 付ボタン× 2
ノブ	300 度回転式ノブ× 2
ディスプレイ	3 桁 LED ディスプレイ
Bluetooth	Bluetooth 5.0
USB	USB2.0
寸法	110 × 110 × 45mm
重量	175 g
付属品	USB ケーブル、取扱説明書

保証書および保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から 1 年間です。
保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。
なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。
① お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
② 故障の原因が当社の責に帰さないとき
③ 本製品の本来の使い方以外で使用の場合
④ 火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
⑤ 誤った接続、操作による故障及び損傷
⑥ 購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷
故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

製品名	4 Pages Box
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所 氏名 TEL _____ e-mail _____
購入店	

ユーザー登録とサポートについて

本製品のサポートにつきましては、下記サポートサイトにてユーザー登録の上、お問い合わせ下さい。

サポートサイト

http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

MIDIPLUS 日本輸入総代理店
〒461-0004 名古屋市東区葵 2-3-13 みねビル 3F
株式会社ファインアシスト

QR コード→



www.fineassist.jp